

高金素梅議員の靖国神社騒擾事件に関する要求

貴国の国会議員である高金素梅氏が八月十一日、約五十名もの群集を率い、境内持ち込みを禁止されている横断幕や写真パネルなどを手に、台湾出身戦歿者を含む二百四十六万余の英霊を祀る神聖なる靖国神社境内に足を踏み入れた。そして拝殿に登ろうとしたり、制止しようとした同神社職員に怪我を負わせるなどの騒擾事件を惹き起こしたことは、戦歿者の英霊への許しがたい冒瀆であるとともに、戦歿者遺族を含む日本国民の心をこの上なく蹂躪するものであった。

これは貴国政府としても看過できない事態であるはずである。例えば日本の国会議員が台北の忠烈祠を冒瀆する行為に出たことを想像されたい。その際貴国政府は、日本政府に対して無言でいられるだろうか。

中国の反日行動に歩調を合わせたこの議員の不逞行為は、日本を侮辱し自国の名誉を傷つけ、まさに中国が対日本、対台湾の戦略上において希求してきたが如く両国間の信頼関係を著しく後退させたのであった。

そこで日台関係の増進を目指して活動を展開している本会は、高金素梅氏に謝罪させることや、二度とこのような不逞行為を起こさせないことを含め、日本国民に対して誠意ある態度を示されんことを、貴国政府に対して強く求める。

平成二十一年八月十九日

日本李登輝友の会

会長 小田村 四郎

台北駐日経済文化代表処

代表 馮 寄台殿